

本当の教えに出遇うことは「生きる」ことから、「生かされる」ことへの大転換

# 無碍の一道 第37号

発行:2014年12月5日  
発行者:淨土真宗本願寺派 長尾山 天龍寺  
〒739-0147 副住職 天野英昭  
東広島市八本松西6丁目10番1号  
TEL・FAX 082-428-0160・082-428-1360

## 第41回 歎異抄輪読会のご案内

日 時 12月18日 (木) 19:00~20:30頃

場 所 天龍寺本堂

講 師 松田 正典先生 (広島大学名誉教授)



費 用 500円

参加者 天龍寺の門信徒の方のみならず、どなたでも参加は自由です

## 除夜会並びに元旦会

日 時 12月31日 (水) 23:30~24:30頃



場 所 天龍寺

今年はろうそくの灯りによるライトアップを計画しております。23:30点火  
予定です。お楽しみに。

但し、天候不良の場合は点火いたしません。ご了承ください。

## 御正忌(おたんや)法座

日 時 1月19日 (月)



ご講師 加藤 一英師 (大崎上島町 淨泉寺ご住職)

朝席 9時~11時頃  
昼席 13時~15時頃

報恩講に多数ご参詣をいただきありがとうございました。

11月16日（日）に当山で報恩講並びに秋季永代経法座を務めさせていただきました。さらにこの度は、龍谷大学名誉教授 林智康勸学にお出でをいただきました。

多くの方々のご参詣に対しまして、書面をお借りしまして厚くお礼を申し上げます。また、中央仏教学院の関係の方々にも多数ご参詣をいただきましたこと重ねてお礼を申し上げます。

ご講師としてお出で頂いた林智康勸学のお話も多岐にわたり、ありがたいお話をいただいたと思っております。

また、ご縁がありましたらお出で頂こうと考えております。その際には、この度のご縁と同様に多数の方のご参詣をいただければありがたいと存じます。

スロープの塗り替えに対しまして、感謝申し上げます。

先般、天龍寺佛教壯年会の方々により、天龍寺本堂のスロープの塗り替えをしていただきました。当山のスロープは出来て、早や約20年近く経過しており、当初の色も無くなり、また雨などにさらされると言う事もあろうかと思いますが、所々修繕する箇所もありました。

この度、その様な理由も含めスロープの塗り替えをしていただきました。長年の雨などによりスロープの色は薄緑に変色しており、当初の色とは大きく違っており、あらためて茶色をベースにして塗り替えていただきました。

ここにスロープを塗り替えて頂きました事に対しまして感謝申し上げるしだいです。さらにこの度のスロープの塗り替えにあたり、天龍寺佛教壯年会のみなさまに裏山の木を伐採していただいた後、『次はスロープのぬりかえじゃのー。』と何度も進言をいただきました佛教壯年会の会員でいらしたK.M様には心より感謝申し上げるしだいです。

萩原麻未さんの演奏会に行ってきました。

11月29日（土）に廿日市さくらぴあホールにて萩原麻未さんの演奏会があり、当山とご関係を頂いております方々と行つきました。

先般の寺報でも申したと思いますが、当初は家内と2人だけで行こうと思っておりました。しかし、テレビ等の報道で演奏会の事を知られた方々のありがたいご意見をいただき、この度みなさまとマイクロバスを借りて行かしていただきました。

ある新聞にも書いてありましたが、彼女の奏でるピアニッシモは本当に優しい響きかするとあります。あらためてこの度の演奏会で実感したしだいです。

彼女と広島音楽高等学校で会つて10年が過ぎましたが、またみなさまとご一緒に演奏会に行かさせていただければと思っております。

最後に、帰りのバスの中でも申しましたが、彼女との出会いも、この度のご縁も大きな仏縁の中での出会いであると感謝申し上げます。

いつの日か私が広島音楽高等学校に勤務しておりました時に彼女が伴奏をしてくれました『恩讃』の感動をみなさまと共有できればと思っております。